



# 大阪から公害をなくす会ニュース

No.454

2018.7.10

発行／

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号

TEL 06-6949-8120 / FAX 06-6949-8121

E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp URL http://oskougai.com/

発行責任者 金谷 邦夫 毎月10日発行 個人会員 月250円

アヤメ 画・加納忠

## 大阪から公害をなくす会 第39回総会

# いろいろな公害・環境問題の運動発展のために

## 新方針と新役員体制を決定

6月14日(木)に「大阪から公害をなくす会第39回総会」が31団体43名の参加で開催、青山副会長の議長で進行了しました。

最初に金谷会長が「大阪地検の『佐川氏ら38人全員不起訴』に思わず「エーッ」となったのは6月



1日の朝です。国家公務員の記録改ざんが犯罪でない！とは。安倍政権のもとで、財務省、

厚労省、防衛省など数多くの資料隠し、データ改ざん、ウソの証言、パワハラ、不適切統計などが発覚し、次々と誤りを指摘されても撤回しない、など多くのウソが「日常的に」進んでいます。でもこれからはそういう時代ではないということを証明していかなければいけません」と挨拶しました。

お祝いメッセージの紹介の後、久志本事務局長よりパワーポイントを用いて、公害環境デー、環境学校、NO<sub>2</sub> カプセル測定、サーベイランス報告問題、大阪府市との交渉など、この間の活動報告があり、続いて公害環境をめぐる情勢、第47回公害環境デー、第

23回環境学校などの方針と、組織財政強化案、財政案などが提案され、土井監査から監査報告を受けました。

その後、参加団体より活発な討論が行われました。

①原発避難者賠償訴訟弁護団からは、これまでの判決の流れで津波対策について、東電はもとより、国の責任も認定されつつあり、引き続きの裁判支援への強化を訴えられました。②建設アスベスト訴訟弁護団からは、泉南被害者を一人残らず救済すべきであり、この間の建設訴訟でも前進しているが、9月に予定の大阪高裁判決の勝利と、原告患者の早期救済のための制度要求への支援を訴えられました。③福島公害患者会より、公害健康補償法による大気汚染公害認定患者の救済が継続されたこと、④大阪府関係職員労組から、中核都市移行に係わる保健所問題、⑤原発ゼロの会大阪から、第5次エネルギー基本計画の問題、⑥おおさか市民ネットワークからカジノ夢洲万博問題、⑦中津リバーサ



イド・コーポ環境を守る会から淀川左岸線Ⅱ期工事での液状化対策と不発弾問題、⑧廃プラ処理による公害から健康と環境を守る会から、ごみを減らす運動の取り組み状況、⑨大阪民医連からミナマタ病患者の掘り起こしと、原発避難者への自主健康診断の取り組みの発言がありました。

事務局長からの討論のまとめでは、公害について多くの課題を一つの場で交流するのは公害をなくす会だけでなく、公害をなくす会の一層の強化と、新年度方針の実行についての決意が表明されました。

全ての提案を採択、金谷会長以下、新役員を選出し、憲法改悪反対の3,000万人署名のアピールを採択しました。

最後に閉会の挨拶で、藤永副会長が、「報告されたたくさんの方の素晴らしい活動が民意であり、カラー版になったニュースも活用して、会員を拡大していきましょう」と訴えられました。

6月18日の大阪府北部地震は、大阪での観測開始以来の大地震で大きな被害をもたらしました。亡くなられた5名のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方に心よりお見舞い申し上げます。